

地歴公民科学習指導案

科 目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
日本史 B	1-1・2 組日本史選択者	1 年 1 組	日本史 A (山川出版社)	古市幸司

1 単元名

第 2 章 4 日清・日露戦争

2 単元の目標

条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。

3 単元（題材）の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。	・我が国の立憲国家としての展開から課題を見だし、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察する。	・近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・我が国の立憲国家としての展開についての基本的な事柄を、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

4 単元の指導計画

第 2 章 立憲国家の成立

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
自由民権運動	○	○		
立憲制の成立	○			○
立憲政治の展開	○			○
日清・日露戦争（本時）	○	○		
産業革命と社会の受容	○		○	
明治の文化	○		○	○

5 教材観

明治政府は、廃藩置県・封建的身分制度の廃止、学制や徴兵制、地租改正など一連の政治改革を推進して富国強兵・殖産興業を進め、西洋の近代思想や生活様式を取り入れた。明治維新の成果をみるべく起きた 19 世紀末からの日清・日露戦争が大きな転換点となり、その後の日本のみならずアジア及び欧米諸国の歴史の大きく影響してくる。条約改正などの外交問題と関連付けて、両大戦への理解にもつながる単元である。

6 生徒観

1年普通科の日本史選択クラスである。授業態度は大変良好で、聞く態度もよい。しかし、中学の歴史内容から脱却できず、歴史を暗記科目と思っている生徒も多い。今回の授業では、生徒の主体性を引き出して課題解決的な学習に取り組ませることによって、歴史に対する学習意欲の向上を図りながら、歴史学習に対する生徒の考え方を転換させたい。

7 指導観

上記の生徒観を踏まえ、学習課題を主体的に捉えさせ、協働的な学習を通して、日清・日露戦争後の国際社会における各国の立場を生徒が具体的に説明できるようにさせたい。最終的には、今回の授業内容を文章としてまとめさせ、学習内容から国際社会と国家との関係を考察させたい。

8 本時の実際

(1) 本時の目標

- 日清・日露戦争を通じて国際的地位を高めた我が国が、軍備拡張を進めながら韓国併合や満洲への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めていくことが、中国やアメリカとの関係にどのような変化を生じたかを考察し、その結果を適切に表現することができる。
- 本時の学習内容を踏まえて、生徒が今後の日本の外交政策や国際社会での在り方に関心を持ち、グローバルな視点で物事を考える素養を身に付けさせる。

(2) 本時の評価基準

日清・日露戦争の授業を通じて、当該国の立場に立って物事を考え、意見や考えを発表する中で、当時の国際社会における日本の外交政策に選択肢はなかったかを多面的・多角的に考察する。

【思考・判断・表現】

(3) 本時までの実際

- ① 日清～日露戦争までの授業を実施
- ② クラスを班分け【(日本)・(清)・(ロシア)・(アメリカ)・(イギリス, ドイツ, フランス, 朝鮮)】し, 図書館やインターネットなどでの事前に学習し, ワークシートにまとめる。
- ③ 本時でワークシートを完成させ, 発表

(4) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点 及び評価の観点	備考
導入 5分	<p><学習課題の設定></p> <p>日清・日露戦争を経て、日本や関係する国々の国際的な立場はどのように変化したか。また、当時、日本が選択した外交は正しかったのか。</p>	<p>●本時の目標と授業の流れを確認する。</p>	<p>・前時までの授業を振りかえる。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・本時の学習課題について問題意識を持つ。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>	

展開 40分	<p><発表準備・最終調整> [5分]</p>	<p>●グループで今まで話し合ったことを完成させる。</p>	<p>○班分けしたグループに分かれるよう指示。</p> <p>・各グループ，話し合い活動ができていますか。発表準備ができていますか。</p> <p>【関心・意欲・態度】 【資料活用】</p>	
	<p><発表></p> <p>1 日清戦争 * 三国干渉</p> <p>2 中国分割～北清事変 ※日英同盟</p> <p>3 日露戦争 ～ポーツマス条約～</p> <p>4 日露戦争後</p> <p>[35分]</p>	<p>《日清戦争》</p> <p>①なぜ日清戦争が起きたか？</p> <p>②三国干渉の各国の思惑</p> <p>《中国分割》</p> <p>①中国分割から北清事変における清国の考え</p> <p>②日露戦争前の日・英・露の思惑</p> <p>《日露戦争》</p> <p>①日露戦争におけるアメリカの立場</p> <p>②ポーツマス条約の内容に対する各国の思惑。</p> <p>《日露戦争》</p> <p>①日本の戦後のアジア経営</p> <p>②アメリカの日本に対する態度の変化</p> <p>③朝鮮の植民地支配について</p>	<p>・発表に対して指導助言を加えながら，19 世末から 20 世紀の対外関係を把握する。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・各グループが当該国の立場で物事を考えるようになる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・他の意見を聞き，自分の答えを導き出す。</p> <p>【資料活用・技能表現】</p> <p>○生徒 1 人 1 人が授業に参加しているか。聞く態度がしっかりできているかなど机間巡視をしながら，生徒の取組状況を把握する。</p>	<p>図 234</p> <p>図 235</p> <p>図 238</p> <p>図 239</p> <p>図 240</p> <p>図 241</p>
終末 5分	<p><本時のまとめ></p> <p>ロシアの南下政策に対して，日本はイギリスとの同盟を背景にして帝国主義化していく。日清・日露戦争の勝利によってアメリカは日本に対する脅威をもつようになった。</p>	<p>●他の生徒の発表を聞き，自己の意見と異なる部分を把握し，より良い表現に修正する。</p> <p>●本時の授業内容を踏まえて，感想をまとめる。</p>	<p>・日清，日露戦争という大きな戦争を経験した日本がその後どうい歴史を歩んでいったかを考えさせる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>	